

ご存知ですか？

大和郡山市地域福祉計画・大和郡山市地域福祉活動計画

福祉の方向性と行政施策を整理したものが『地域福祉計画』、その施策を実現するため住民のみなさんや様々な団体、社会福祉協議会が取り組む民間の活動をまとめたものが『地域福祉活動計画』です。

住民のみなさんをはじめ、地域に関係する多様な主体が、地域で出会い、交流し、地域の課題について共有・協議し、連携・協働して課題解決を図っていくことで、地域主体の課題解決力を育み、「誰もが支えあい、助けあえる地域づくり」に一緒に取り組みましょう。

基本理念

世代を超えて みんながつながり 支えあうまち 大和郡山

基本目標

1. 誰もが支えあい、助けあえる地域づくり

- 市民一人ひとりが「地域」「福祉」を我が事として捉え直すための意識づくり
- 「支え手」と「受け手」が固定されない、誰もが活動・活躍できる機会づくり
- 地域主体の課題解決力の育み

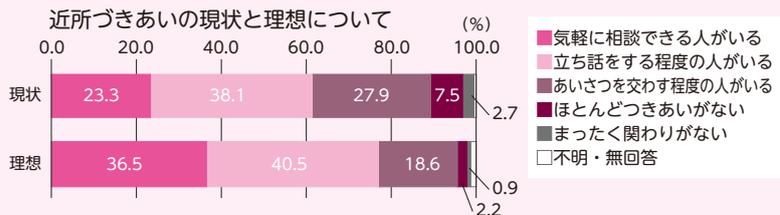
2. 包括的な支援体制づくり

- 身近な地域での見守り体制・相談機能の充実
- 分野を超えた相談支援機関の連携体制の整備
- 専門職による多職種連携や専門職と地域との顔の見える関係づくり

大和郡山市の現状と課題 市民アンケート調査の結果から

近所づきあいについては、現実と理想でギャップがある

親密な近所づきあい（気軽に相談できる人、立ち話をする程度の人がいる）について、現状と理想に差がみられる。



住民同士の自主的な助け合いが必要だと思う人は多い

「住民同士の自主的な助け合い」を必要と思う市民（とても必要だと思う+ある程度必要だと思う）は全体で9割以上となっている。



地区懇親会の結果から

地区懇談会では、「5年後の理想の地区の姿」と「5年後の理想の地区の姿を実現するためにできること」の2つのテーマでグループワークを行いました。

声かけ / “ちょっとした支えあい”ができる地区がいいね / 見守り / 地域活動において、若い世代の担い手の確保・育成が難しい…

詳しくは、市のホームページや地域包括ケア推進課、各公民館、社会福祉会館窓口で閲覧できます。

問合せ＝地域包括ケア推進課（内線 585）

年末火災予防運動（12月1日～31日）年の瀬です 忙しくても火の用心

火の用心のポイント

- ・ 出かける前や寝る前には、必ず火の元を点検する。
- ・ たき火などをするときは、風の強い日や燃えやすい物の近くではしない。また、水バケツなどの消火準備をしておく。
- ・ ガスコンロや暖房器具の付近には、燃えやすい物やスプレー缶など近づけないようにする。
- ・ 子どもやお年寄りだけ残しての外出は避ける。
- ・ 家のまわりには燃えやすい物を置かない。また、門灯をつけて明るくする。



暖房器具の正しい使い方

- ◎ストーブ・ファンヒーター
 - ・ 火をつけたまま給油したり、持ち運んだりしない。
 - ・ ストーブの上に洗濯物などを干したり、近くに燃えやすい物やスプレー缶などを置かない。
 - ・ 使用後や離れるときは、こまめに消し、完全に火が消えたか確かめる。
 - ・ ガスのゴム管が古くなっていないか確かめる。
- ◎ホームこたつ・カーペット
 - ・ 洗濯物などをこたつの中に入れない
 - ・ たこ足配線で使用しない。

12月19日（木）9時30分から、アピタ大和郡山店にて、街頭キャンペーンを実施します。

問合せ＝奈良県広域消防組合大和郡山消防署 予防課（☎ 59-1289）